

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学附属病院小児外科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報ならびに病理標本(検体)の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 8 月

福島県立医科大学附属病院 小児外科 田中 秀明

■ 研究課題名

CPAM(先天性肺気道奇形) の KRAS 変異の空間的分布解析を通じた手術切除範囲の妥当性を検証する研究

■ 研究期間

2026 年 9 月 ～ 2031 年 3 月

■ 研究の目的・意義

先天性肺気道奇形 (CPAM) 1 型の患者さんでは、肺の病変部から「KRAS」という遺伝子の変異が検出されることがあり、これが将来的な悪性化に関与する可能性が報告されています。そのため、現在の手術では病変だけでなく、周囲の肺も含めた「肺葉切除」が行われることが一般的です。しかし、この変異が病変からどのくらい離れた正常な肺にまで及んでいるかは明らかになっていません。本研究は、過去の手術で切除された肺の標本を用いて、病変分からどのくらい離れれば変異が検出されなくなるかを調べることで、将来の患者さんに対して悪性化リスクを低減しつつ、正常な肺をできるだけ残す（温存する）最適な切除範囲を設定するための根拠を得ることを目的としています。

■ 研究対象となる方

2010 年 1 月から 2031 年 3 月までの間に、当院小児外科にて「CPAM 1 型」の診断で肺切除術を施行された 16 歳未満の患者さんが対象です。

■ 研究の方法

過去の診療の過程で手術により切除され、当院の病理部に保存されている標本（パラフィンブ

ロック) を用います。病変部および、病変から一定距離離れた部位からごく微量の組織を採取し、DNA を抽出して KRAS 変異の有無を解析します。また対象となる方の診療録 (電子カルテ) から、性別、手術時の年齢 (月齢)、術前の症状の有無、切除した病変のサイズなどの情報を収集し、解析結果との関連を調べます。なお、解析やデータ収集の際は、氏名やカルテ番号などの直ちに個人を特定できる情報を削除し、代わりに本研究専用の符号 (研究用 ID) に置き換えて取り扱うため、患者さんのプライバシーは厳重に保護されます。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 9 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院小児外科であり、研究責任者は小児外科 田中秀明です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学附属病院小児外科で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究は当院のみで実施する研究であり、取得した試料 (標本から抽出した DNA 等) や情報を他の病院や研究機関などへ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 小児外科 担当：町野 翔

電話：024-547-1255 FAX：024-547-1981

e-mail：machino@fmu.ac.jp